

デジタルデバイスを用いた生徒による発表～GIGAスクール構想下での授業形態～

Student presentations using digital devices In GIGA School Concept

*竹村 英紀¹

*Hidenori Takemura¹

1. 学校法人城北学園

1. Johoku Junior and Senior high school

中学校学習指導要領（平成29年3月告示）では「知識及び技能が習得されるようにすること。」「思考力、判断力、表現力等を育成すること。」「学びに向かう力、人間性等を涵養すること。」の三点を偏りなく実現できるようにするものと述べられている。特に昨今では、大学入試改革によって(1)の知識及び技能だけでなく、他の能力も評価する動きが強まっている。

学習指導要領の理科の項目では上記の(1)～(3)を偏りなく実現するために、「十分な観察や実験の時間、課題解決のために探究する時間などを設けるようにすること。」と書かれており、その際には「言語活動が充実するようにすること。」とある。これを達成するために、従来実験やグループワーク等、様々な取り組みが行われてきた。だが、その多くは紙媒体を用いたものであった。

GIGAスクール構想が進んできたことにより、一人一台のデバイスが整備されることとなった。これにより、従来行われていた実験やグループワークの幅が広がり、今までとは異なる形態の授業を展開できるようになった。その一例として、デジタルデバイスを用いて観察結果をまとめ、発表を行うという授業形態の実践報告を行う。

キーワード：GIGAスクール構想、ICT、プレゼンテーション、ロイロノート、グループワーク

Keywords: GIGA School Concept, ICT, presentation, Loilo Note, group work